

おも そうだんじれい ほうどうじれい 主な相談事例・報道事例

1. おも そうだんじれい 主な相談事例について

(1) ふとう さべつてきとりあつか かか そうだんじれい 不当な差別的取扱いに係る相談事例

ア ぎょうせいぶんや かん そうだん とうじしゃ したい ふじゆう そうだん 行政分野に関する相談（当事者：肢体不自由）からの相談

＜そうだんがいよう 相談概要＞

- しょうがいしゃてちょう しよじ す じちたい そと びょういん つういん
・ 障害者手帳を所持し、住んでいる自治体の外の病院に通院しているが、

けん で びょういん い
タクシー券が出ないので、病院に行けない。
- す じちたい き けん で ひと で ひと さ おし
・ 住んでいる自治体に聞いても、タクシー券が出る人と出ない人の差を教えてください、

さべつ かん
れず、差別に感じる。
- けん で ひと で ひと ちが おし
・ タクシー券が出る人と出ない人の違いを教えてください。

＜たいおうがいよう 対応概要＞

- とうがいじちたい れんらく ほんけんそうだんないよう せつめい
センターから当該自治体に連絡し、本件相談内容について説明したところ、

か き かいとう
下記のとおり回答があった。
- けん じちたいない びょういん つういん ひと たいしょう
・ タクシー券は自治体内の病院に通院の人だけを対象にしている。
- そうだんしゃ ほうこく か き はなし
センターから、相談者へ報告したところ、下記のとおり話があった。
- いぜん じちたいない びょういん しょうじょう おも み い
・ 以前、自治体内の病院では症状が重くて診られない、と言われたことがあ

る。

➤ センターより、当該自治体に意見書の書き方について確認するなど、直接の

対話を促し、相談者が納得されたため対応終了した。

(対応のポイント)

✓ 両者の建設的対話を促して、相談解決を図った。

イ 医療・福祉分野に関する相談（当事者の関係者（当事者：知的障害）から

の相談）

<相談概要>

- ・ 子どもに軽度の知的障害があるが、先日、保育園に見学に行った際に、「みんなと同じようにできないのであれば、保育園に通う必要は無い」と、言われた。
- ・ 保育園に指導してもらい、謝罪してほしい。

<対応概要>

➤ センターから当該事業者に連絡し、本件相談内容について説明したところ、

下記のとおり回答があった。

- ・ 見学にいらしたときに、お子さんの同伴がなかったため、お子さんが皆と同じに行動できますかと尋ねると、「誰かについてもらえば大丈夫かもしれない

が、ついていなければ無理」^{むり}と断言^{だんげん}された。

- ・ お母様^{かあさま}からは、「みんなと同じようにできないのであれば、保育園^{ほいくえん}に通う必要^{かよ ひつよう}は無い^なと言われ^い、傷^{きず}ついた。謝罪^{しゃざい}をもらいたい」旨^{むね}のメールも頂^{いただ}いている。
- ・ 当日^{とうじつ}話^{はな}したことは、ニュアンス^{すこ}が少し異^{こと}なり、一日中^{ついたちじゅう}ずっと職員^{しょくいん}がつくという^{こと}であれば、それは難^{むずか}しいということ。要所^{ようしょ}要所^{ようしょ}で職員^{しょくいん}が一人^{ひとり}つくという^{こと}であれば、可能^{かのう}かもしれないし、実際^{じっさい}にそのようなことも行^{おこな}っている。
- ・ 意味^い合^みいの受け止^うめ方^{かた}に行^いき違^{ちが}いが生^{しょう}じてしまったのかもしれない。
- ・ 伝え方^{つた かた}に問題^{もんだい}はなかったか今後^{こんご}検^{けん}討^{とう}していきたいし、申し訳^{もう わけ}なかったと思^{おも}っている。メールに返^{へん}信^{しん}するよりも、電話^{でんわ}で話^{はな}したいが、現時^{げんじてん}点^{てん}で連^{れん}絡^{らく}がついていない。
- センターから事業^{じぎょう}者^{しゃ}に対^{たい}し、障^{しょう}害^{がい}者^が差^さ別^{べつ}解^{かい}消^{しょう}法^{ほう}・都^と条^{じょう}例^{れい}につい^て普^ふ及^{きつ}啓^{けい}発^{はつ}し、相^{そう}談^{だん}者^{しゃ}へ報^{ほう}告^{こく}したと^{ころ}納^な得^{とく}された。その後^ご、事^じ業^{ぎょう}者^{しゃ}より連^{れん}絡^{らく}あり。
- ・ 相^{そう}談^{だん}者^{しゃ}に対^{たい}し、差^さ別^{べつ}的^{てき}な意^い味^みで言^いったのではないと説^{せつ}明^{めい}や謝^{しゃ}罪^{ざい}をし^{ても}納^な得^{とく}し^{ても}らえなかつた。内^{ない}部^ぶで検^{けん}討^{とう}し、改^{あらた}めて相^{そう}談^{だん}者^{しゃ}に架^か電^{でん}し、差^さ別^{べつ}的^{てき}な意^い味^みで言^いったのではないこと^を十^{じゅう}分^{ぶん}に説^{せつ}明^{めい}して切^{せつ}電^{でん}する予^よ定^{てい}。
- センターから事業^{じぎょう}者^{しゃ}に対^{たい}し、今^{こん}後^ごの対^{たい}応^{おう}につい^ては内^{ない}部^ぶで検^{けん}討^{とう}しな^がら対^{たい}応^{おう}し^てい^ってほ^しい^いと伝^{つた}え、対^{たい}応^{おう}終^{しゅう}了^{りょう}した。

（^{たいおう}対応のポイント）

- ✓ コミュニケーションの^い行き^{ちが}違いが生じていたため、双方へ相互理解を求めた。

ウ ^{いりょう}医療・^{ふくし}福祉分野に関する^{かん}相談（^{とうじしゃ}当事者（^{ちょうかくしょうがい}聴覚障害）からの^{そうだん}相談）

＜^{そうだんがいよう}相談概要＞

- ・ ^{でんわ}電話リレーサービス^{けいゆ}経由で、クリニックに^{でんわ}電話^{よやく}予約をしたところ、「^{うけつけ}受付して
おりません」と^{ことわ}断られた。
- ・ ^{せんぼう}先方に^{れんらく}連絡して、^{ふとう}不当な^{さべつてきとりあつか}差別的取扱いの^{きんし}禁止の^{ふきゅうけいはつ}普及啓発をし、^{けっか}結果を^し知らせて
ほしい。^{とくめい}匿名で^{ねが}お願いしたい。

＜^{たいおうがいよう}対応概要＞

- センターから^{とうがいじぎょうしゃ}当該事業者^{れんらく}に^{ほんけん}連絡し、^{ほんけん}本件^{そうだんないよう}相談内容について^{せつめい}説明したところ、
^{かき}下記のとおり^{かいどう}回答があった。
- ・ ^{とうじつ}当日、^{でんわ}お電話を^{さい}いただいた^{たいへん}際に、^{うけつけしよくいん}大変^{ひとり}混んでおり、^{うけつけしよくいん}受付職員が1人だった。
- ・ ^{つうやくしゃ}通訳者の方が^{かた}パソコンを^{にゆうりよく}入力しながら^{はな}話しているような^{かん}感じで、^{おうとう}応答に^{じかん}時間
がかかった。^{ちい}小さな^{いそが}クリニックで^{じかんたい}忙しい^{よやく}時間帯だったので、^{ことわ}予約をお断りして
いますというようなことを^い言ってしまったと思う。
- ・ ^い言い方も^{かた}強くなってしまったように^{おも}思う。

- ・ プライバシーに関わる相談もあるため、通訳者や身内であっても第三者が診察室に入ることはご遠慮願っているが、内部で相談し、今後の対応を検討する。
- センターから事業者に対し、障害者差別解消法・都条例について普及啓発し、相談者へ報告したところ納得されたため、対応終了した。

（対応のポイント）

- ✓ 障害を理由にサービスの提供を断ることは、障害者差別解消法の「不当な差別的取扱い」に該当することを事業者の説明した。

エ サービス分野に関する相談(当事者の関係者(当事者:てんかん)からの相談)

＜相談概要＞

- ・ 子どもがスイミングスクールに通っていたが、てんかんと診断されたため休んでいたが、症状も安定してきたため、スクールに再開の連絡をしたところ、安全が確保できないと断られた。
- ・ 主治医からは、学校のプールは再開していいと言われている。

＜対応概要＞

- センターから当該事業者と連絡し、本件相談内容について伝え、対応の検討

を依頼した。後日、事業者より下記のとおり返答があった。

- ・ 検討の結果、安全面を考慮すると、発作が起きた際、現状すぐに対応できる体制ではないと判断せざるを得ない。理由として、発作が起きた際の対応のノウハウを習得していない指導者もいるため。また、規模が大きい会社でもあるので、すぐに体制を変えることが難しい。変えていかなければならないという意識はある。
- ・ 今すぐの対応は難しいかもしれないが、差別解消に関する法や条例を踏まえた上で、これからは個々に応じて代替手段を検討しながら、なるべく多くの方を受け入れたい。
- ・ 相談者には直接謝罪をし、すぐに受け入れられないことについて説明をした。
- センターから事業者に対し、障害特性は個々によって異なるため、個々に建設的対話をしていただき、柔軟な対応を心がけてほしいことを伝えた。
- センターから相談者に報告したところ、相談者より直接事業者と話をするので、対応終了した。

(対応のポイント)

- ✓ 具体的な危険性の想定がなく、漠然とした安全の確保を理由に、サービスの

ていきょう ことわ しょうがいしゃさべつかいしょうほう ふとう さべつてきとりあつか がいとう
提 供 を断 る こ と は、障 害 者 差 別 解 消 法 の「不 当 な 差 別 的 取 扱 い」に 該 当 す

じぎょうしゃ せつめい
る こ と を 事 業 者 に 説 明 し た。

- ✓ あんぜんめん かくほ ばあい しょうがいしゃ りゆう ぐたいてき せつめい りかい
安 全 面 が 確 保 で き な い 場 合 は 障 害 者 に そ の 理 由 を 具 体 的 に 説 明 し、理 解 を

え たいせつ じぎょうしゃ つた たいおう けんとう いらい
得 る こ と が 大 切 で あ る こ と を 事 業 者 に 伝 え、対 応 の 検 討 を 依 頼 し た。

(2) 合理的配慮の提供に関する事例

ア きょういくぶんや かん そうだん とうじしゃ かんけいしゃ とうじしゃ はったつしょうがい そうだん
教 育 分 野 に 関 す る 相 談 (当 事 者 の 関 係 者 (当 事 者 : 発 達 障 害) か ら の 相 談)

そうだんがいよう
＜ 相 談 概 要 ＞

- ・ こ はったつしょうがい ないぶしんがく こうこう い がっこう い
子 ども に 発 達 障 害 が あ る が、内 部 進 学 で 高 校 に 行 け な い と 学 校 か ら 言 わ れ た。

こうこう ぜんいん しんがく しょうがい はいりょ
高 校 へ は 全 員 が 進 学 で き る わ け で は な い が、障 害 が あ る こ と を 配 慮 し て も ら

おも
え て い な い よ う に 思 う。

- ・ こ がっこう い やす
子 ども は、「学 校 に な か な か 行 け な か っ た が、休 ん で し ま っ た と き の テ ス ト や

かだい じょうほう な せいせきひょう はんえい こんご がっき
課 題 の 情 報 が 無 く、そ れ が 成 績 表 に 反 映 さ れ て し ま っ た。今 後 3 学 期 は こ の

な い
よ う な こ と が 無 い よ う に し て ほ し い。」と 言 っ て い る。

- ・ がっこう れんらく とくめい ね が
学 校 へ の 連 絡 は、匿 名 で お 願 い し た い。

たいおうがいよう
＜ 対 応 概 要 ＞

➤ センターから当該事業者^{とうがいじぎょうしゃ}に連絡^{れんらく}し、本件相談内容^{ほんけんそうだんないよう}について説明^{せつめい}したところ、

下記^{かき}のとおり回答^{かいとう}があった。

・ 基本的^{きほんてき}には各教科^{かくきょうか}からの連絡^{れんらく}は、ICT機器^{きき}により情報^{じょうほう}を開示^{かいじ}しており、休んで
いても情報^{じょうほう}がわかるようになっている。

・ 情報開示^{じょうほうかいじ}のツールや使い方^{つかかた}も教師生徒等^{きょうしせいと}に周知^{しゅうち}しているが、何かでツールに
不具合^{ふぐあい}が起きたという場合^おもあるので、今後^{こんご}はカバーしていきたい。

➤ センターから事業者^{じぎょうしゃ}に対し、障害者差別解消法^{しょうがいしゃさべつかいしょうほう}・都条例^{とじょうれい}について普及啓発^{ふきゅうけいはつ}
し、相談者^{そうだんしゃ}へ報告^{ほうこく}したところ納得^{なつとく}されたため、対応^{たいおう}終了^{しゅうりよう}した。

（対応^{たいおう}のポイント）

✓ 相談者^{そうだんしゃ}が匿名^{とくめい}を希望^{きぼう}されたため、両者^{りょうしゃ}の対話^{たいわ}を促す^{うなが}ことはできなかったが、

障害者差別解消法^{しょうがいしゃさべつかいしょうほう}の「合理的配慮^{ごうりてきはいりよ}の提供^{ていきよう}」について学校^{がっこう}に説明^{せつめい}し、今後の

対応^{たいおう}において留意^{りゅうい}いただくよう依頼^{いらい}した。

イ 交通分野^{こうつうぶんや}に関する相談^{かん}（当事者^{そうだん}（視覚障害^{とうじしゃ}）からの相談^{しかくしょうがい}）

＜相談概要^{そうだんがいよう}＞

・ 先日^{せんじつ}、ある駅^{えき}のA線改札^{せんかいさつ}で他の鉄道会社^たB線改札口^{てつどうがいしゃ}までの案内^{せんかいさつぐち}を頼んだところ、

案内^{あんない}してくれなかった。B線^{せん}では、A線^{せん}までの案内^{あんない}をしてくれたことがある。A

線の事業者は話をした際に、今後は対応改善すると約束してくれたが、今回、

やはり A線から B線への案内をしてくれなかった。

- ・ 事業者と連絡して、対応を確認してほしい。

<対応概要>

- センターから A線事業者と連絡し、本件相談内容について説明したところ、

下記のとおりの回答があった。

- ・ 相談者の利用された駅は、B線と距離があり、片道だけで 20分以上かかる場合

があるため、業務に影響が出てしまう。

- ・ 駅員数に限度があるので、係員に余裕があるときは B線への案内もできるが、

通常はお断りしている。

- ・ ご相談内容を受けて再度内部で検討し、折返し連絡する。

- その後、事業者より下記のとおりの連絡があった。

- ・ 今後は、少しお待ちいただくかもしれないが、ご相談いただければ案内できるようになる。

- センターから事業者に対し、障害者差別解消法・都条例について普及啓発

し、相談者へ報告したところ納得されたため、対応終了した。

(対応のポイント)

- ✓ 障害者差別解消法の「合理的配慮の提供」について事業者に説明し、過重

な負担のない限り、対応していただくよう依頼した。

ウ 医療・福祉分野に関する相談（当事者（当事者：肢体不自由）からの相談）

＜相談概要＞

- ・ 病院で、問診票が書けずに代筆をお願いしたが断られた。その後、診察は受けられたが、合理的配慮がないのではと思い連絡した。東京都から指導してもらいたい。

＜対応概要＞

- センターから当該事業者（当事者）に連絡し、本件相談内容について説明したところ、下記のとおりの回答があった。
- ・ 初診窓口には一日数千人の初診者がいらっしやって混雑しているため、代筆はできず、直接受診科窓口で話を聞き、診察に案内した可能性がある。
- ・ しかし本来、その旨説明をすべきで、説明ができていなかったのであれば申し訳なかった。
- センターから事業者に対し、障害者差別解消法・都条例について普及啓発し、相談者へ報告したところ納得されたため、対応終了した。

（対応のポイント）

- ✓ 障害者の申し出どおりにできない場合は、その理由を説明し、理解を得ることが大切であることを事業者に伝えた。

エ サービス分野に関する相談（事業者（当事者：聴覚障害）からの相談）

＜相談概要＞

- ・ お客様からの問合せに対し、コールセンターにて対応をしているが、障害者の方には、FAXや折返しの電話ができる専用窓口（電話）にて対応している。
- ・ 本日、リレーサービスを利用し、コールセンターに入電したお客様がいた。
- ・ 専用窓口へ電話していただくよう伝えたところ、立腹され切電されてしまった。
当方の対応がよかったのか気になっている。
- ・ 今後、リレーサービスを利用し、契約等の申込みを受けた場合、本人からの電話かの判断が出来ないことが想定される。何か判別できる方法があるか。

＜対応概要＞

- センターから、一般財団法人日本財団 電話リレーサービスに問合せ、その回答も踏まえ、下記のとおり伝えた。

- ・ 本人確認としては、例えば、本人しか知り得ない情報（生年月日や住所等）
で確認できる。
 - ・ リレーサービスかどうかの確認は、ナンバーディスプレイに電話番号が表示されるので、折り返し電話することで確認できる。
 - ・ 障害者の方を拒否している訳ではなく、別の窓口を設置し対応していることは障害者への配慮にあたると言える。
- 事業者より、下記のとおり質問があった。
- ・ 法的に合理的配慮の提供ができていたかどうか判断いただきたい。
 - ・ 東京都の障害者差別解消法ハンドブックや事例集を読んだが、その中に「公表」とあったが、今回の件が公表されたりするのか。
- センターより、合理的配慮の提供ができていたかどうかの判断は、個々の内容
によるので、当センターでは障害者から相談が入ったら、相談者と事業者の
双方の主張等を確認し、建設的な対話が進められるよう調整していることを
説明し、都条例についても普及啓発し、対応終了した。

（対応のポイント）

- ✓ 「合理的配慮の提供」は、個々の障害者に対して、その状況に応じて個別

じっし そち じぎょうしゃ つた
に実施される措置であることを事業者に伝えた。

オ サービス分野に関する相談（当事者（化学物質過敏症）からの相談）

＜相談概要＞

- ・ じぶん とない しせつ りよう こうすい じゅうなんざい にお つよ ひと
自分は都内のスポーツ施設を利用しているが、香水や柔軟剤の匂いが強い人
がいてこま困っている。においにおが強い人つよ ひとの入場規制にゅうじょうきせいをしてほしい。
- ・ と じぎょうしゃ しどう ほか どうよう こま ひと
都から事業者に指導してほしい。他にも同様に困っている人はいるはず。

＜対応概要＞

- センターから、じぎょうしゃ かくにん か き かいとう
事業者へ確認したところ、下記のとおり回答があった。
- ・ た ぎょうせいきかん とお にお つよ ひと と し
すでに他の行政機関を通して、匂いの強い人を取り締まってほしいという
ようぼう う こと
要望を受けているが応えることはできない。
- ・ にお つよ はか ぎやく おし ほ
匂いの強さをどのように測るのか逆に教えて欲しい。
- センターからじぎょうしゃ たい しょうがいしゃさべつかいしょうほう と じょうれい ふきゅうけいはつ
事業者に対し、障害者差別解消法・都条例について普及啓発
し、ほんけん しょうじょう くる かた そんざい にんしき なに くふう
本件のような症状で苦しんでいる方の存在を認識し、何か工夫できるこ
とがないかけんとう した つか ごと じぎょうしゃ にゅうでん
とがないか検討してほしいと伝えた。その後、事業者より入電あり。
- ・ こんかい いけん はじ かがくぶっしつかびんしょう なや ひと そんざい
今回、このような意見をもらい初めて化学物質過敏症で悩んでいる人の存在が

わ
分かった。

- ・ 対応策として、規約等に入れることはできないが、国の啓発ポスターを
み
見つけたので掲示した。
 - ・ 本人が来店し、ある程度納得し、本人の運動している場所にも掲示して欲しい
とのことで、対応した。
- その後、本人からセンターに御礼の入電があり、対応終了した。

（対応のポイント）

- ✓ 「合理的配慮の提供」において、障害者の申し出どおりの対応が難しい場合
でも、建設的対話を通じて代替手段を検討していくことが大切であることを
事業者^{じぎょうしゃ}に伝えた。

2. 報道発表事案について

- （1）合理的配慮、民間も義務に 改正障害者差別解消法の施行日を
かくぎけつてい
閣議決定

- ・ 政府は3月14日、改正障害者差別解消法の施行日を、2024年

4月1日とする政令を閣議決定した。

- ・ 政府は同日、改正法に基づく具体的な対応をまとめた基本方針も

改定した。同法が禁止する「不当な差別的取り扱い」「合理的配慮

の不提供」について、該当する例と該当しない例を書き込んだ。

- ・ 不特定多数の障害者と接することを想定して、事業者があらかじめ

店員に研修するといった「環境の整備」と、障害者一人ひとりの

個別性に応じて行う「合理的配慮」の違いも事例で説明した。

- ・ 差別を感じた障害者や対応に困った事業者が相談できる窓口は、

内閣府が中心となって明確にする。

(令和5年3月29日 福祉新聞記事より一部抜粋、

<https://www.fukushishimbun.co.jp/topics/29530>)

(2) 障害者差別解消「市全体で」 名古屋市、条例改正方針

- ・ 名古屋城・天守閣の木造復元計画のバリアフリー対策を巡り、市民討論会で

差別的な発言があったことを受け、名古屋市は15日の市議会財政福祉委員会

で、障害者への配慮を進められるよう、障害者差別解消推進条例を改正す

ほうしん しめ
る方針を示した。

- ・ みつか ひら しみん とうろんかい せっち けんとう すいちよくしょうこうせつび でんどう
3日に開かれた市民討論会では、設置が検討されている垂直昇降設備「電動
かご」について、くるま りよう さんかしゃ じょうそうかい せっち もと たい
車いす利用の参加者が上層階まで設置を求めた。これに対
し、いちぶ さんかしゃ がまん もと うえ さべつてき はつげん
一部の参加者が、我慢を求めた上、差別的な発言もした。
- ・ この問題への市の対応を巡っては、しぎかい ぶんだん まね ひはん
この問題への市の対応を巡っては、市議会から「分断を招いた」などの批判の
こえ
声があがっており、けんこうふくしきよく さべつ かいしょう む り かいそくしん ふじゅうぶん
健康福祉局は、差別解消に向けた理解促進が不十分だっ
たとし、こんご ゆうしきしゃ とうじしゃ きょうぎかい かいせいあん けんとう
たとし、今後、有識者や当事者らでつくる協議会で改正案を検討する。

れいわ ねん がつ にち よみうりしんぶん いちぶ ばつすい
(令和5年6月16日 読売新聞オンラインより一部抜粋、

<https://www.yomiuri.co.jp/local/aichi/news/20230615-OYTNT50238/>)

(3) セブンーイレブンがくるま ひと おうぼ
(3) セブンーイレブンが車いすの人に「応募しないで」 パリ SG などの日本ツ

かんせん
アーの観戦キャンペーン

- ・ さいおおて とうきょう がつ かいがいめいもん
コンビニ最大手セブンーイレブン・ジャパン（東京）が6月、海外名門サッカ
ークラブのらいにちしあい かんせん ちゅうせん あ じっし
ークラブの来日試合の観戦チケットが抽選で当たるとうたい実施したキャン
ペーンで、くるま しょうしゃ おうぼ こぼ わ
車いす使用者らの応募を拒んでいたことが分かった。ウェブサイ
トに注意事項として「くるまいす りよう かいじょ ひつよう きゃくさま たいおう おこな
車椅子ご利用や介助が必要なお客様への対応は行って
おりません」と掲載。当事者からの問い合わせに「くるま せき おうぼ
車いす席がないので応募

しないしてほしい」と回答^{かいとう}していた。

- ・ 国立競技場^{こくりつきやうぎじやう}には約500 の、ヤンマースタジアム^{やんま}長居^{ながい}には約340 の車^{くるま}いす席^{せき}が整備^{せいび}されている。セブン&アイ・ホールディングス^{せぶん&あい}広報センター^{こうほう}は取材^{しゆざい}に「ジャパンツアー事務局^{じゃぱんつあーじむきよく}から車^{くるま}いす席^{せき}が割り当てられず、現地^{げんち}での付き添い^{つきそ}などの対応^{たいおう}が難^{むずか}しいことを知らせるために注意事項^しを掲載^{ちゆういじこう}した。障害者^{けいさい}を差別^{しょうがいしゃ}する意図^{さべつ}はなかった。今後は障害者^いに最大限^{こんご}配慮^{しょうがいしゃ}するよう取り組み^{さいだいげんはいりょ}たい」と釈明^{とく}した。

- ・ ジャパンツアー広報事務局^{こうほうじむきよく}は取材^{しゆざい}に「座席^{ざせき}の割り当て権限^わは当方^あにあった」とした上で、スポンサー^{うえ}が実施^{じっし}する観戦^{かんせん}チケット^{きけ}キャンペーン^{けっか}用に車^{よう}いす席^{くるま}を割り当てる必要^わがあるという認識^あが欠けていた。結果^{ひつよう}としてキャンペーンから障害者^{しょうがいしゃ}を排除^{はいじょ}、差別^{さべつ}する事態^{じたい}を招いた。深く反省^{まね}し、おわびする^{ふか}」と非^{はんせい}を認めた。

(令和5年7月24日 東京新聞より一部抜粋、

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/264951>)